



ふくしのひろば

Fukushi no Hiroba

Vol. 247
Summer 2023

10月1日号



特集
じぶんの町を良くするしくみ
『赤い羽根共同募金』



「10月1日から
『赤い羽根共同募金』運動スタート」



CONTENTS

- 02-03 **Pick UP** 特集1 **じぶんの町を良くするしくみ。～赤い羽根共同募金～**
03 Focused Person(注目の人)：全日本空輸株式会社(ANA)鹿児島支店長
- 04-05 **Pick UP** 特集2 **住民参加型福祉サービス支援事業参加団体の紹介：妙円寺2 ちょこボラ**
06-09 各種制度のご案内
07 福祉サービス事業所のみなさまへ
09 地域の宝人(喜界町)
10 頻発化・激甚化・広域化する自然災害に備えて
11-12 告知・周知

広報誌「ふくしのひろば」は
ホームページでもご覧になれます





▲在住外国人生活支援モデル事業 (写真②)



▲みんなの杜 森さん家 (写真①)



▲赤い羽根号 デイサービス車両の購入助成 (写真③)

巻頭特集 じぶんの町を良くするしくみ。～赤い羽根共同募金～

「困ったときはおたがいさま、 支え合う人たちがいる」



▼イベント募金 (写真⑥)



▼子ども食堂への支援 (写真④)



▲赤い羽根号 デイサービス車両の購入助成 (写真③)

外国人を対象にしたアンケート調査や、関係機関・団体の支援を対象にした在住外国人生活支援研修会を実施したほか、体験・交流活動として、出水市の竹灯籠透彫同好会の皆様方のご協力を得ながら、技能実習生に日本文化に触れていただく交流会を実施しました。(写真②)

このほかにいろいろな 福祉活動に助成を 行っています



この取組は、令和6年度までとなつていますが、このように様々な地域生活課題に対する取組に対して共同募金の助成金が活用されています。

▼共同募金運動の
シンボルキャラクター



皆様のおたがいご協力をよろしくお願いします。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。

地域の福祉活動に助成を行っている共同募金ですが、人口減少やコロナの影響もあり募金額は年々減少し、令和4年度の募金額は約2億4700万円となりました。

Focused Person 注目の人

ANA(全日本空輸株式会社)鹿児島支店 支店長 藤崎 美保さん



大事な取組である「赤い羽根」をバックアップ

今回は、赤い羽根共同募金の運動開始日(10月1日)に、毎年、ご協力いただいているANA(全日本空輸株式会社)鹿児島支店長の藤崎美保さんを紹介しします。

Q.共同募金とのつながりは

ANAグループは長年にわたり共同募金の協力企業として厚生労働大臣の「運動開始のメッセージ」や「赤い羽根」の伝達に協力しており、今年が62回目となります。

Q.伝達式・街頭募金にご協力いただいておりますが感想は

コロナ前はキャビンアテンダントが参加していました。私自身は、令和3年の阿久根市、4年の鹿屋市の伝達式・街頭募金に参加しました。街頭募金では、中高生などのボランティアの方が真剣に取り組んでいる姿や小さなお子さんがご両親の手を引きながら笑顔で募金している姿を見てとても大事な取組だと再認識しました。

Q.ご自身は鹿児島市のご出身とお聞きしましたが

鹿児島市の出身で、ANAの国際線客室乗務員等を経て、令和3年の春、鹿児島支店に着任しました。生まれ故郷の鹿児島のお役に立つことはできる限り協力したいと思います。また、コロナ前の状況に戻りつつあることから、皆様方にも是非空の旅を楽しんでいただければと思います。

▼R4年度街頭募金風景



今年で77回目を迎える「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から始まります。今回は共同募金の助成を受けられた団体を紹介しします。

南大隅町社会福祉協議会では、空き家を利用した「みんなの杜森さん家」を運営しています。

この取組にも赤い羽根共同募金の助成金が活用されています。

きっかけは、地域の老人クラブ会長などを歴任された方のご遺族から、生前社協にお世話になっていたので、空き家を無償でいいので福祉に役立てて欲しいとの申出があり、コロナ禍で外出機会が減少した中、民家利用型で少人数の集まりが可能ではないかと考え、取り組むこととなったそうです。この「みんなの杜森さん家」では、高齢者や障害者の方などいろいろなグループが集まり、アットホームな雰囲気の中で、小規模茶話会や工作・創作活動に取り組んでいます。取材に訪れた日は、「木工の会」の皆さんが椅子作りに取り組んでいました。作業終了後には、参加された方々が作った焼きそばをみんなで美味しく、楽しくいただきました。

空き家を利用した 居場所づくり事業への 助成



在住外国人の孤立解消の取組のための活動に対する助成

県社会福祉協議会では、令和4年度から3年間の計画で、県内で増加している外国人就労者をはじめとする在住外国人の孤立感の解消と地域課題の解決を目的として、在住外国人生活支援モデル事業に取り組んでおり、この取組にも赤い羽根共同募金の助成金が活用されています。

この事業で、昨年度は出水市をモデル地区に指定し、地域住民や在住

事業に取り組む富田事務局長は「病氣などを抱え、なかなか外に出たがらない方々も、空き家を利用していただくことで自由さもあり、気軽に楽しく参加している。共同募金の助成があり事業に取り組むことができた。現在1箇所ですが、可能であればこのような場を増やしていきたい。」とお話していました。

(写真①)

お話を伺った、
富田事務局長



ちょっとしたボランティア活動で、ふれ愛い、支え愛いがひろがる

— 「妙円寺2 ちょこボラ」の取り組み —



地区の皆さんに覚えてもらいたいやすい団体名を検討し、「ちょこボラ」と名付け再スタートしました。

ちょこボラ活動の魅力

現在では、年間に三十件ほどの依頼を受け活動を行っているちょこボラの皆さん。活動の魅力や醍醐味について、代表の奥村和隆会長をはじめメンバーの方々にうかがうと「依頼者から『よかった。助かった。』という声をいただくことがとても嬉しく、安心します。」とのこと。

さらに、「継続の秘訣についてうかがうと、「地域で困っている人を助け、安心してもらうことが一番ですが、それに加えて、活動後の何とも言えない達成感と充実感が自分自身の元気の源となり、メンバーが集まり同じ話題で話しをすることが楽しかったです。」と活き活きとした表情で話されていました。

これまでの課題と今後の展開



活動開始から3年が経過し、依頼件数も多くなってきたものの、現在でも無償で支援を受けることに抵抗感を持つ方も少なくない。特に、高齢者からは「人様に迷惑をかけることはできない。」といった声もよく聞かれるそうです。ちょこボラの活動について地道に広報を続けつつ、支える側も支えられる側もそれぞれができることを持ち寄って、誰もが気軽に助け合える地域づくりの模索が続いています。

今回の取材で、暮らしやすい地域づくりに向かって邁進するちょこボラのメンバーが、県VCへ相談にいられた頃に比べさらに力強くなっているように感じられ、とても頼もしく思いました。

はじめに

少子高齢化や人口減少が全国的に進むなか、日常生活に課題を抱える地域住民が住み慣れた地域で安心して生活ができる地域づくりへ期待が高まっています。

本会ボランティアセンター（以下「県VC」という。）では、日常生活の困りごとなどの地域課題の解決に向けた取り組みとして、令和3年度から「住民参加型福祉サービス支援事業」を実施し、市町村社協と連携して住民主体の支え合い活動に取り組む活動団体の組織化・活性化を支援してきました。

今回、令和3年度に本事業の活性化支援に参加した、日置市妙円寺2区自治会「ちょこボラ」（以下「ちょこボラ」という。）を取材しました。

活動が始まったきっかけ

ちょこボラは妙円寺2区自治会の有志メンバー17人により活動されているボランティアグループで、区内に居住する「ちょっとした困りごとを抱えた方々」に対して依頼があれば庭の草取りや剪定、ゴミの処分等の支援を行っています。グループの発足については、妙円

寺2区自治会内の高齢化（令和2年度末時点65歳以上…46%）が年々進んでいることが大きな要因となっており、住民の方から「歳を取って、これまでは自分で行っていた軽作業についても体力的に難しくなってきた。」等の声が複数聞こえてきたことから、自治会で軽微な手伝いや安否確認を行うことがきつかけで

ちょこボラ誕生

令和2年12月に、有志のメンバーでスタートしたボランティア活動をPRするため、自治会の回覧板での広報や声かけなどを行いました。が、日常生活上のちょっとした困り事を人に頼むことに抵抗感を持つ方も多く、依頼数が伸び悩み活動に結びつきにくい時期がしばらく続きました。

そこで、メンバーで話し合いを重ね、県VCへ相談し、助け合い活動を活発に行っている団体へ視察を行い、運営方法等について聞き取りを行いました。何より、団体名がなかったので、

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

ケガの補償	基本プラン			天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
	死亡保険金	後遺障害保険金	入院保険金日額	手術 入院中の手術	手術 外来の手術
	1,040万円	1,040万円(限度額)	6,500円	65,000円	32,500円
			通院保険金日額	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)
			4,000円	初日から補償	初日から補償
				地震・噴火・津波による死傷	×
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通) 5億円(限度額)				
年間保険料	350円	500円	550円		

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

生活福祉資金貸付制度のご案内

〈生活福祉資金貸付制度〉

この制度は、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯の経済的な自立の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として、資金使途に応じて、自立更生が見込まれる世帯へ対応するための**資金貸付制度**です。



子どもの進学が決まったけど、学費や寮費はどうしよう



困りごとがあるんだけど、費用の準備ができなくて困ったな。
(引越、葬儀、屋根の修理、福祉用具等)

お近くの「社会福祉協議会」や地域の「民生委員」へご相談ください。



※対象要件や貸付限度額がありますので、必ずお問い合わせください。



詳しくは HP へ▶



生活支援部

TEL:099-214-3701 FAX:099-214-3812 (平日:9:00~17:00)

令和5年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

プラン1 オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033 から抜粋)

はいりもんぞ！ソウェルクラブへ！

～福利厚生センター（ソウェルクラブ）加入のご案内～



福利厚生センター（ソウェルクラブ）とは

福利厚生センターは、社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図ることを目的に設立され、厚生労働大臣指定の、当確事業を行う全国唯一の社会福祉法人です。会員数は、全国で約 27 万人に達しております。鹿児島県社会福祉協議会は、福利厚生センターの鹿児島事務局を運営しています。

福利厚生センターのサービス内容の例

健康管理のため

- 生活習慣病予防健診費用助成 (30 歳以上 4,000 円)
- 健康生活用品の給付 (毎年度) など

慶弔のため

- 結婚お祝品・出産お祝品・入学お祝品贈呈 (商品又はギフト券)
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈
- 会員死亡弔慰金 (60 万円～ 180 万円) など

リフレッシュのため

- クラブ・サークル活動助成 (1 人あたり 1,000 円)
- 国内外 20 万か所以上の施設やサービスの優待利用 など

生活サポートのため

- 特別資金ローン (多目的ローン)
- ソウェル保険 (団体生命、医療保障、積立等) など

会員交流事業 (鹿児島独自)

- コンサートや観劇チケットの特別価格販売 など

加入対象 社会福祉事業または介護保険事業に携わる事業所の役職員 (非常勤・パートも加入可能)

費用

第 1 種会員：毎年度 1 万円、第 2 種会員：毎年度 5 千円 (ともに職員 1 人当たり)
※第 2 種会員は一部利用できないサービスがあります。



詳しいことについては、右記 QR コードもしくはお問い合わせ先までご連絡ください。



福祉人材・研修センター
TEL: 099-256-6767 FAX: 099-250-9363

鹿児島県民間社会福祉施設職員退職共済制度のご案内



「求人を出しているのに応募がない・・・。
他業種と比較して福利厚生が不十分かもしれない・・・。」

などでお悩みではありませんか？

- 加入施設数
⇒ 548 施設
- 加入者数
⇒ 10,774 人
(R5.3.31 時点)

鹿児島県民間社会福祉施設職員退職共済制度があります！

福祉施設で働く職員の
福利の向上 (処遇向上)

施設で働く職員の
確保・定着・育成

より質の高い福祉サービスの
提供が可能に！



○加入対象施設や掛金について、
詳細な制度内容につきましては
右の QR コードより HP をご確認ください。



総務部 TEL: 099-257-3855

「すこやか長寿社会運動」をご存じですか？

「すこやか長寿社会運動」とは

高齢者が長年の経験の中で培った知識や技能を生かして積極的に社会参加し、生きがいのある生活を送ることができる心豊かで活力ある長寿社会を実現するため、県民総ぐるみの「すこやか長寿社会」を推進する運動です。
 鹿児島県社会福祉協議会では、鹿児島県が平成元年度から進めている本運動の一環として次のような事業を推進しています。

人づくり

● **かごしまシニア人材育成促進事業** 地域活動に意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、必要な知識等を習得する研修の実施や活動事例集の配布により、地域が行う高齢者の人材育成等を支援します。

健康・生きがいづくり

- **シルバー文化作品展** 高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めることで、心身ともに健やかなゆとりある「生きがいづくり」を推進するため、県内居住の高齢者の創作による日本画、洋画、書、工芸、写真、彫刻の作品を展示します。
 今年度は9月6日から10日まで、県歴史・美術センター黎明館で展示いたしました。
- **全国健康福祉祭派遣事業** 高齢者の健康及び福祉に関する総合的な普及啓発イベントである「全国健康福祉祭（通称「ねんりんピック」）」に選手を派遣します。今年度は、10月28日から31日まで、愛媛県で開催される予定です。
- **いきいきシルバースポーツ大会** スポーツ活動を通して、高齢者の心身の健康と生きがいづくりの推進を図るため、高齢者を中心とする市町村や地区別で開催されるスポーツ大会を支援します。



長寿社会推進部

TEL: 099-250-7441



地域の宝人
 ~喜界島~

みんなで楽しむ。
 みんな一人じゃない。



ていだの会
 ぎなま たかこ
 代表 宜名真 孝子 さん

「ていだ」とは島の方言で太陽という意味があり、私たちは島内の会員の方々と世代を超えて様々な活動を行っています。
 立ち上げ時は子どもの障がい等で育児に行き詰ってしまった親が集える場を作りたい一心から始まりましたが、現在は、育児等に対する相談はもちろんのこと季節ごとのイベント等も実施していることもあり、約50世帯が会員となっています。
 世帯単位での会員制となっていることもあり、イベントを開催すれば乳幼児から高齢者まで幅広い方々が集まります。餅つきでは高齢者がこれまで培っていた熟練の技を披露するなど生きがいづくりにつながっています。
 ここ数年はコロナの影響でなかなか思うように活動できていませんでしたが、今後は活動を再開することで島内の人と人の繋がりを再確認できるようにし、小さなことでも「ていだの会」での交流をきっかけに相談できるような環境になればいいと思います。

頻発化・激甚化・広域化する自然災害に備える

～災害ボランティアセンターによる迅速かつ効果的な被災者支援に向けて～

1 頻発化・激甚化・広域化する自然災害

今年は、平成5年8月6日に鹿児島市内を流れる甲突川の氾濫や国道10号線の寸断など甚大な被害が生じた「8.6水害」から30年を迎え、自然災害やその対策への関心が高まっています。

こうした中、今年も6月下旬から7月上旬にかけて降り続いた大雨により、東北から九州までの26県で被害が発生し、7月18日の8時30分現在で、人的被害33人（死者14人、行方不明者1人、負傷者18人）、住宅被害3,601棟（全壊18棟、半壊50棟、床上浸水1,151棟、床下浸水2,209棟、一部破損173棟）が報告され、特に8県の25市10町3村には災害救助法が適用されるなど甚大な被害が生じました。このように、近年の自然災害は、頻発化・激甚化・広域化の傾向が顕著であり、今後さらに迅速かつ効果的な被災者支援が求められています。



6月下旬～7月上旬の大雨による被災状況（久留米市）

2 災害ボランティアセンターとは

前述の大雨災害において、7月19日時点で9県13市5町2村の社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を設置・運営し、被災者支援に取り組んでいます。

このように、社会福祉協議会では大規模災害が発生した際に、地元行政や関係機関・団体等と連携・協働し、ボランティアの力を借りて被災者の生活復旧・生活再建に向けた活動を展開する災害ボランティアセンターの設置・運営を担っています。災害ボランティアセンターでは、発災初期によく報道される土砂除去やガレキ撤去、清掃、畳出しや家具運搬等のほか、時間の経過とともに変化する被災者の困り事などへの対応などを通じて、被災地の復興を支えます。

3 災害ボランティアセンターによる迅速かつ効果的な被災者支援に向けて

全国各地で様々な災害が多発する中、災害ボランティアセンターによる被災者支援の役割にますます期待が寄せられていることから、鹿児島県社会福祉協議会では毎年鹿児島県総合防災訓練に参加し、「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施しています。

令和5年度は去る5月27日(日)に始良市の加音ホールにおいて、鹿児島県と始良市の社会福祉協議会のほか、始良・伊佐地区内の2市1町社会福祉協議会、加治木看護専門学校、日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会及び霧島青年会議所の参加を得て、「始良市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を行いました。

この訓練では、「ICTの活用」と「運営の効率化」に重点を置き、ボランティア受付用のQRコードとQRコードリーダーを用いた受付、活動上の注意事項に関する配信動画の上映などを導入するとともに、被災ニーズとのボランティアのマッチングなどに使用する書類の最小化に努めたことで、空いた時間を被災者の困り事などの把握に注力できるといった気づきの機会となりました。

鹿児島県社会福祉協議会では、今後も市町村社会福祉協議会や関係機関・団体等と連携を深めるとともに、ICTの活用などによる災害ボランティアセンターの効率的運営に努め、災害時における被災者支援を迅速かつ効果的に展開できるよう取り組みを進めることとしております。



QRコードによる受付



オリエンテーション



被災者への支援（模擬）



10~12月 楽しく学べる介護講座



番号	講座区分	講座名	期 日	会 場	受講料
1	県民向け	地域介護講座(始良・伊佐地区)	10月6日 金	国分総合福祉センター	500円
2	県民向け	やさしい介護教室B	10月14日 土	かごしま県民交流センター	500円
3	専門職向け	介護職基礎研修B(2日間)	10月26日 木	かごしま県民交流センター	5,000円
			10月27日 金		
4	県民向け	やさしい介護教室C	11月2日 木	かごしま県民交流センター	500円
5	専門職向け	介護職スキルアップ研修(排泄ケアI)	11月9日 木	かごしま県民交流センター	4,000円
6	専門職向け	介護職スキルアップ研修 感染症予防対策・褥瘡ケア&救急対応	11月10日 金	かごしま県民交流センター	4,000円
7	専門職向け	介護職スキルアップ研修(認知症ケア)	11月24日 金	かごしま県民交流センター	4,000円
8	専門職向け	介護職の体リフレッシュ研修	11月29日 水	かごしま県民交流センター	2,000円
9	専門職向け	介護レクリエーション研修	11月30日 木	かごしま県民交流センター	3,000円
10	専門職向け	介護職調理教室	12月3日 日	かごしま県民交流センター	3,000円
11	専門職向け	介護職スキルアップ研修(排泄ケアII)	12月6日 水	かごしま県民交流センター	4,000円
12	専門職向け	介護職スキルアップ研修(口腔ケア)	12月7日 木	かごしま県民交流センター	4,000円

○上記介護講座及び認知症介護実践者等研修の開催時期等の詳細につきましては、ホームページをご確認ください。

なお、上記6~9番の講座については募集定員に達したため、「キャンセル待ち」にてお申し込みを受け付けております。

鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示) 〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 かごしま県民交流センター2階
TEL: 099-221-6615・6616 FAX: 099-239-0384



info

「福祉・介護のしごと 就職・転職フェア」



福祉・介護の仕事に関心のある方、就職・転職を希望される方は、
お気軽にご参加ください



	霧島会場	北薩会場
日 時	令和5年11月4日(土)	令和5年11月25日(土)
場 所	国分シビックセンター	薩摩川内市総合福祉会館



<霧島・北薩会場>

(1部) 13:00 ~ 13:50...就職・転職セミナー (一般・シニア向け)

介護事業所等においてシニアの方などを中心に活躍いただける仕事について、わかりやすく紹介します。

※セミナーの参加は、お電話又は右のQRコードからお申し込みください。

(2部) 13:50 ~ 15:50...就職・転職相談会

福祉・介護職場の求人担当者から直接、求人内容等について話が聞けます。

※3か所以上のブースを回るとモバイルバッテリーをプレゼントします。

※福祉・介護に関する資格の取得方法等に関する相談コーナーもあります。

※悪天候等のため開催できない場合がありますので、県社協ホームページを必ずご確認ください。



福祉人材・研修センター TEL 099-258-7888 FAX 099-250-9363



「介護ロボット相談窓口」の取り組みについて

鹿児島県介護実習・普及センターでは、「介護ロボット相談窓口」を設置しています。

相談窓口でできること

① 介護ロボット導入や普及等のご相談

介護現場の方：介護ロボット導入方法や活用方法等に関するご相談をお受けします。
 開発企業の方：介護ロボットの開発・実証・普及方法等に関するご相談をお受けします。
 ※Zoomによるオンライン相談も可能です。(事前に電話またはメールでご相談ください)



② 介護ロボットの体験

どなたでも体験いただけます！
 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション支援分野の介護ロボットを16点常設展示しています。実際に触れて体験することができます。

③ 介護ロボットの試用貸出

介護事業所から介護ロボットの試用貸出についてご依頼いただけます。
 依頼を受け、開発企業からの無償貸出について調整を行います。
 ※常設展示している介護ロボットの情報や試用貸出を希望される場合は、鹿児島県社会福祉協議会のHPから閲覧いただくか、下記QRコードから閲覧ください。

研修会・講座案内

少しでも興味がある方はお気軽にご参加ください！！

介護ロボット導入支援研修会（介護ロボット鹿児島フォーラム）

10月25日（水）9：50～15：30 かごしま県民交流センター 大ホール ほか（※参加費無料）
 ～介護事業者や現場で働く職員に対して介護ロボット導入の普及啓発・導入支援を行う他
 在宅介護者・一般の方々への介護ロボットの啓発を図ることを目的に開催します～

問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示)
 〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号
 かごしま県民交流センター2階
 TEL：099-221-6615・6616 FAX：099-239-0384

「介護ロボット相談窓口」は
 こちら→



information 令和6年度障害者訓練生募集

～あなたの自立をお手伝いします～

- 訓練期間 令和6年4月から1年間
- 募集期間
 B日程……令和5年10月20日(金)～11月22日(水)
 C日程……令和6年1月4日(木)～2月9日(金)
 ※A日程は終了しています。
- 受験料・授業料 無料

訓練科名・定員・対象者や申込方法等詳細につきましてはHPにてご確認ください。

お問い合わせ先

国立・県営 鹿児島障害者職業能力開発校
 〒895-1402 薩摩川内市入来町浦之名1432
 TEL：0996-44-220



ご厚意に感謝

次の方々から、寄附金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。
 ○一般社団法人 鹿児島県タクシー協会 様

編集後記

暑い暑いと言っているうちに、10月になってしまいました。今年の夏は豪雨や台風と全国各地大変な状況であったと思います。

今回も複数取材をさせていただき、地域住民同士での繋がりとこのものを感じられたため、自分が住んでいる地域についても理解を深めなければと考えさせられました。

↓喜界島名物をいただきました(一部)



▲油ソーメン



▲ボタンポウフウの天ぷら

お問い合わせ

鹿児島県社会福祉協議会 総務部

☎ 099-257-3855 FAX 099-251-6776

📧 / http://www.kaken-shakyo.jp ✉ / soumu@kaken-shakyo.jp



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

